



発行者
諫早市立諫早中学校
校長 副校長

学校銘「啐啄（そったく）」

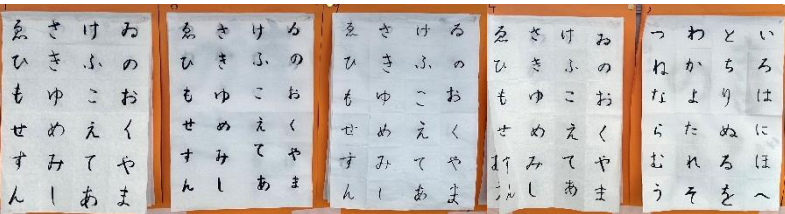
ひな鳥がかえるとき、ひな鳥は殻の中から、親鳥は外から殻をつつき、殻が割れ、一つ大切な生命が誕生します。この姿と同じように、生徒と教師が共に学び合う「共学」こそ、教育の姿勢であり目的です。本校ではこれを銘と定めています。

○ 修学旅行に向けて（2年）

昨日、2年生では修学旅行に向けた活動に取り組んでいました。生徒たちにとって関心が高いのが、活動班、語学研修班、宿泊の班、バスの座席などのようです。一生懸命に話し合いを行っていましたが、自分のことだけでなく、クラス全体のことを考えながら、相談したり、譲り合ったりしながら和気あいあいと活動する姿が印象的です。また、下の写真のように、話し合いの様子を撮影していると、笑顔でポーズをとってくる



生徒も少なくありませんでした。屈託のない笑顔に負けて写真を撮ると、「この写真も使ってください!」と、これまた笑顔で話してくれる2年生の雰囲気よさに感心しました。修学旅行を本当に楽しみにしていることが伝わってきました!これから、さまざまな準備があると思いますが、中学校生活のよい思い出ができることを心から願っています。



上の写真は、2年生の廊下に掲示されていた書写の時間の作品です。授業中に集中して活動していることが伝わってきます。これらの作品からも、諫早中学校に入学して1年半、中学校生活の折り返し地点に差し掛かった2年生の成長を感じ取ることができます。

○ 昨日と今日の給食



昨日の給食



今日の給食

○ 3年生の授業風景（国語）



右の写真は、3年生の国語科授業です。俳句の検討を行っていますが、クロムブックを使用しながら班で活動しているところです。3年生は、撮影しようとしてカメラを向けてもあまり気にすることなく、いつも通り活動を続けていました。また、男女の仲もよく、真剣ながらも和やかな雰囲気での学習を進めているのがとても印象的でした！

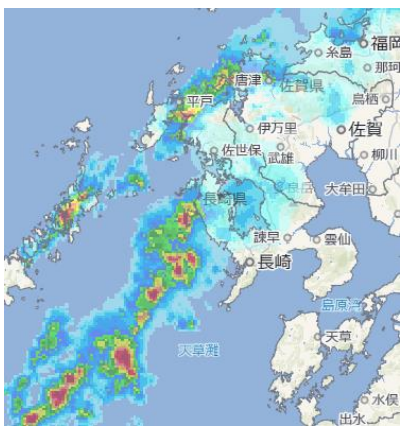
最近、「教育DX」という言葉が話題です。「デジタル・トランスフォーメーション」といいます。

諫早市でもクロムブックが学校に導入され、3年目となります。家庭での活用も進んでいるので、もはや日常の風景となっています。授業以外にも、練習問題やアンケート調査、クラスや教科の連絡、オンラインによる交流など、様々な使い方があります。それらを統合して次の段階に進もうというのが、教育DXです。生徒の学びをより深いものにするため、様々な工夫に取り組んでいきたいと思っております。

○ 荒天時における対応について

昨日は、早朝の大雨・雷の影響で、自宅待機及び10時始業という対応をとりました。急な対応でしたが、保護者の皆さまのご協力に心から感謝しています。

今後も、線状降水帯（右図）、台風、大雪など、様々な自然災害が発生することが予想されます。さらに、近年の気候変動によって、雨や雪の量が極端に増えています。また、この夏の暑さも尋常ではなく、一番暑い時間帯の部活動を中止・変更の対応をとる場面もありました。



これからの時代は、このような自然災害や命の危機に対応できる力も身につけてほしいと思います。また、諫早中は校区が広く、河川の増水や土砂災害などの危険性もあり、学校から自宅までが数キロという人もいます。何より大切なことは、

「生命・安全」です。かけがえのない生命を守るための対応をお願いします。早朝など、学校からの連絡が遅くなることも考えられます。その時に最善であると考えられる判断をしていただきたいと思います。また子どもたちにもその力を養い、身につけてほしいと願っています。**今後、どのような自然災害が発生するかわかりません。「大切な生命」を守るため、私たちの危機意識をしっかりと高めていきましょう！**